

平成27年度 仙台大学大学院 授業概要

授業科目名	保健科教育学特講			担当教員	岡崎勝博		
領域水準コード	A2,B2	単位数	2単位	履修方法	保健体育科教諭・養護教諭:選択必修	授業の方法	講義
授業の概要							
1)保健科教育の研究領域とそれらの課題及び解決方法について歴史的に検討する。2)保健授業の診断、処方、方策について検討する。3)すぐれた保健授業実践について検討する。							
授業の一般目標							
すぐれた保健授業創出のためには、何を考え、何を研究しなければならないかがわかり、当面の研究課題とその解決方法を述べることができる。							
授業の到達目標							
<input type="checkbox"/> 認知的領域	保健授業づくりの方法と研究法がわかる。						
<input type="checkbox"/> 情意的領域	保健授業づくりのおもしろさを感じ、意欲が高まる。						
<input type="checkbox"/> 技能表現的領域	仲間と保健授業改善について議論することができる。						
授業計画(全体)							
次の計画・構想に則って進行するが、展開過程で順番を変更したり、追加する場合がある。							
授業計画(詳細)							
回	授業テーマとその内容						
1	[テーマ] 授業の成立を支えるもの [内容] 授業の意味と構造について	9	[テーマ] 保健授業づくりへの挑戦(2) [内容] 子どもとの対面、教材との対面				
2	[テーマ] 保健授業の存在根拠 [内容] 保健の目標をめぐる「わかる」と「できる」	10	[テーマ] 保健授業づくりへの挑戦(3) [内容] すぐれた教材づくりに学ぶ				
3	[テーマ] 保健授業を創出する教師力(1) [内容] 教師の役割と教師力	11	[テーマ] 保健授業の過程と方法(1) [内容] 学習方法をめぐって				
4	[テーマ] 保健授業を創出する教師力(2) [内容] 授業をデザインする教師力	12	[テーマ] 保健授業の過程と方法(2) [内容] 「ゆさぶり」(教授行為)をめぐって				
5	[テーマ] 保健授業を創出する教師力(3) [内容] 「支援する、ケアする」とは	13	[テーマ] 保健授業の研究(1) [内容] 保健授業検討の視点と方法				
6	[テーマ] 保健授業の構想と指導計画(1) [内容] 授業の流れをめぐって	14	[テーマ] 保健授業の研究(2) [内容] これまでの研究の検討				
7	[テーマ] 保健授業の構想と指導計画(2) [内容] 指導計画(指導案)を書く意味	15	[テーマ] 保健担当教師の研究 [内容] 授業での悩みとその解決法をめぐって				
8	[テーマ] 保健教材づくりへの挑戦(1) [内容] 授業に対する信念と問題意識	16	[試験または課題] [方法] レポート提出				
授業外学習の指示等							
1)小・中・高等学校の保健授業を参観及び介入する。2)すぐれた保健授業の実践記録及び研究論文を収集する。							
成績評価方法(方針)							
どれだけ自分の保健授業への信念と構想を述べることができ、また他人の授業実践及び研究に対して批判的見解を述べる能力を身につけることができたかで評価する。							
成績評価方法(詳細)					履修上の注意(受講に当たって学生に望むこと)		
到達目標	認知的領域	情意的領域	技能表現的領域	評価割合(%)	授業の参加者としてではなく、授業創出者の一人としての意識で受講することを望む。		
定期試験(期末試験)	◎		○	60			
小テスト・授業内レポート	○	○		10			
授業外のレポート	○	○	○	10			
ポートフォリオ		○	○	10			
出席		◎		10			
その他							
関連科目							
教科書	特になし			参考書	佐伯胖他編著『学びへの誘い』東大出版会、秋田喜代美他編著『教育研究のメソロジー』東大出版会		
連絡先	小濱:A314, ak-kohama@sendai-u.ac.jp						